

解答方式	時間	大問数	難易度
記述式	90 分	3 問	標準

■設問別分析

大問	区分	内容	難易度
1	長文読解	説明、outcomes の内容、和訳	標準
2	長文読解	説明	やや難
3	英作文	大問 1 の内容を受けた自由英作文(150 語程度)	標準

■設問別解説

1

カヤック事故から学んだことを書いたエッセイ。設問は和訳問題を始め、「筆者のカヤックの危険に対する注意の欠如はどのような事柄に表れているか述べよ」、「なぜ 2 番目の旅では筆者は自信を持てたのか説明せよ」など、本文の内容に関する説明問題の分量が多い。

問 8 和訳問題

From separate signs emerged a more comprehensible and personal perception. This, perhaps, is similar to the experience of improvising* music with others, in which individual notes no longer take prominence, but a larger meaning emerges in a wordless communication among the performers. Sadly, though, we often “atom-ize” knowledge into pieces that do not have a home in a larger framework of ideas.

第一文は MVS の倒置であり元の形に戻すと、A more comprehensible and personal perception emerged from separate signs.となる。

「個々の兆候から、より理解しやすく、個人的な認識が生じた。」

第 2 文は in which 以下がポイント。関係詞の非制限用法なので、「,」の前で一度文を切って訳す。「これは、おそらく、他の人たちと音楽を即興で演奏する体験に似ている。」which の内容は the experience of improvising music であるので、in which に代入し、「その体験では」とする。「その体験では、個々の音はもはや目立たなくなるが、演奏者間の無言のコミュニケーションの中で、さらに大きな意味が生じる。」

atomize A into B の意味が取りづらいが into は「変化」を表す前置詞であることと、atom

「原子」の意味を考えると、「原子化する」→「細かくする」→「細分化する」と予測できるだろう。また、a home の訳も難しいが、「より大きな枠組みの中に a home を持たない」つまり、「拠点を持たない」と考えることができるので、「より大きな枠組みに属さない」とできるとよい。ideas と複数形になっているため、「複数の概念」とする。最終文の訳は「だが、残念なことに、私たちは知識を、複数の概念から成るより大きな枠組みに属さない断片的なものへと『細分化』してしまうことが多い。」

2

プラスチックの微粒子による五大湖の汚染について書かれた論説文。設問は英語。ほとんどが説明問題であるが、該当箇所を探すのが難しい。

問1

第一段落、最終文に該当。

This summer, they are widening the search to Lakes Michigan and Ontario, dragging a very fine net at the surface behind sailing boats.

fine は「純度が高い」という意味が根本にあるが、ここでは網を修飾するため、「細かい」とするとよい。

解答：船の後部につけた非常に目の細かい網を水面で引いた。

問2

下線部 it all の内容を問う選択問題。

下線部直前の内容をふまえて、A が選べる。

問3

設問の possible と、第3段落最終文の suspect が対応していることに気づきたい。

The scientists **suspect** they are “micro beads” used in personal care products such as facial and body washes and toothpaste, for their polishing function.

解答：洗顔料、ボディークリーム、歯磨き粉などに利用されている研磨機能を持つ微粒子。

問4

下線部 a smoking gun の意味を問う選択問題。

直後のコロン以下にある説明と、次段落冒頭が根拠。

正解は D。

問5

第4段落第3文の During a meeting ~以下が根拠。

また、同段落最終文にオンタリオ湖が言及されている。

解答：エリー湖、オンタリオ湖

問6

第6段落第3文が根拠。

In ocean environments, fish and birds are known to feed on microplastics, apparently mistaking them for fish eggs.

「魚や鳥が、魚の卵と勘違いして、プラスチックの微粒子を食べてしまうため。」

問7

第6段落後半の内容をまとめる。

A more complicated question is whether the particles are soaking up toxins in the water, potentially contaminating fish that eat them — and sending them up the food chain.

Rios said lab examination had detected two potentially harmful chemical compounds in the Lake Erie plastic waste that are capable of causing cancer and birth defects.

「微粒子が水中の毒素を吸収し、それを食べた魚が汚染される。さらに食物連鎖上位に受け継がれ、人間の体内に入ることによって、癌や先天性欠損症を引き起こす。」

問8

the manufacturers が第4段落の some big companies に対応。

At the urging of scientists and others, some big companies have agreed to gradually stop using them.

一部の大手企業は徐々に微粒子の使用をやめることに同意している。

問9

ヤツメウナギ、ムラサキガイ、アジアンカーブ

問10

最終段落最終文に該当。

「水銀などの汚染物質の警告に慣れているから。」

3

解説 略

問題 I の“Kayaking”の中で著者は、彼の人生において命を脅かすような貴重な経験を描いている。この例にならい、あなた自身の(またはあなたの身近な人の)人生を変えるようなもしくは目を覚まさせるような経験、あるいは教科書的な知識をあなた自身の実体験に結びつけるような経験について、いつ、誰が、どこで、どのような経験をしたかなど、具体的に、150 語程度の英文で書け。